

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの記録を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	気分障害患者のうつ病エピソードにおける電気けいれん療法の実施状況と有効性に関する検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 精神科 講師 吉野 祐太
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日
対象となる方	2022 年 12 月から 2024 年 4 月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうちうつ病エピソードと診断された患者
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 年齢、性別、診断、内服薬、主治医による効果判定、転帰、サイマトロンの波形データおよびサマリデータ (刺激強度、規則的な対称性高振徐波、発作後抑制、発作の持続時間、交感神経の興奮)
研究の概要 (目的・方法)	電気けいれん療法は難治性のうつ病、統合失調症などの病気、またカタトニアなどの特定の症候群に対して効果がある治療法です。しかし、電気けいれん療法で有効な刺激が得られているかの指標はガイドラインによって提唱されていますが、未だ確実な指標がなく、確立していません。本研究では、当院の電気けいれん療法で十分に有効な刺激が得られているかを、2022 年 12 月から 2024 年 4 月までに当院で電気けいれん療法を実施されたうつ病エピソードと診断された患者さんを対象に検討することを目的としています。
個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報 (対応表) は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提

	供は行いません。また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院精神科 吉野 祐太 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel：089－960－5315